

# 梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.22

## 東松山市史完成

1986(昭和61)年

1986(昭和61)年3月に刊行した「東松山市の歴史」(下巻)をもって東松山市史全3巻が完成し、旧石器時代から昭和50年代までの市の歴史が明らかになりました。市史編さん事業は東松山市域を中心とした自然と祖先の足跡をたずね、貴重な文化遺産の保護を図り、郷土の発展に寄与することを目的に1971(昭和46)年から始まりました。現在は、市制70周年となる2024(令和6)年の完成に向け、昭和50年代以降の市史を編さんしています。

「東松山市の歴史」は、東松山市の出来事を時代ごとに分けて刊行され、調査・報告書などは資料編として5冊刊行されているよ。



前回の市史では、古い商家や農家の金銭帳簿、村の出来事など様々な古文書を市民からお借りして編さんされたんだよ。



### キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画「漫画でわかる梶田隆章先生とニュートリノ」のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



### しがほつやまキッズ集合!

## おしえて『文化財』

### かたな かついち 刀(克一)

東松山市指定文化財「刀(克一)」は震鱗子克一が作った、長さ20.9センチメートルの短刀です。普通の刀のイメージと違い、反りがなくまっすぐで、刃の半分ほどが両刃になっている、一目見ると槍のようにも見える刀です。

克一は高崎藩(現在の群馬県高崎市ほか)専属の刀づくり職人を務めたこともある人物で、文化2(1805)年以降は各地をめぐる腕を磨き、同8(1811)年には故郷・高崎に戻り、同15(1818)年2月に亡くなったとされています。刀の銘文から克一が一時期、現在の東松山市域に住んでいたことがわかります。



(銘文)大日本東武松山住平克一  
※克一が武蔵国松山に住んでいたことがわかる。



(銘文)應川寄易良需作之  
※刀の発注者が「川寄易良」であるとわかる。



刀(克一)

問 埋蔵文化財センター  
TEL 27-10333 FAX 27-10334